

發行兼編輯人 川崎文治

本社同番地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元

郵税 五厘

廣告 五字一週 十字一週 二十字一週 五十字一週 一百字一週

印刷 每日新聞社

電話 六三〇番

刊夕日四十二月二十

常盤毎日新聞

幸福の道へ

(四) 三宅花圃

轉んで起き、轉んで起き、其の度毎に起き方に進歩を見たらば轉ぶといふも無意義でなく、むしろそこに幸福の端緒を見出した事を喜ばねばなりません。その轉んで起る時順境に這入らうとする時に、決して無理や技巧を弄してあせつてはなりません。ほんとの行くべき道開かれたる道を堂々闊歩して足音たかく一歩々々にふみかためつゝ行進むのがよいのです。蹉

つきの多い人世は闊歩して行かうとするに必ず種々の障害物が置かれてありませう。其れを丁寧に除去し、長がに歩を進めるのです。一時のぎや胡魔化は幸福の敵成功の仇である公明正大といふ事は真に清い尊い幸福の泉を心の底に蓄へてくれます。幸福といふも不幸といふもつまり心の置き方或は比較的から出る言葉です。他と比較して幸福な身と思へば思つてゐられる事もないわけです。彼の上見れば及ばぬ事の多くあり下みて通れ兩國の橋といふ道歌もかういふ感念をさしてゐませう。さうかと言

つていつまでも一つ所に止つてゐるのもつまらぬ事です。満足とか諦めとかいふのはわるい考へで、は無論ないのですがそれでは餘り消極的ではないでせうか。今の身を餘り不幸と歎かず常に愉快の心を持つてよりよく幸福により多く愉快に正しき道を進むべき道を一歩々々と進んで行くに限ると思はれます。こんな不幸な身はなまのまゝと歎き聊つ場合親の邪慳子の不良夫の無情といふ一家の不和の原因も決して相對の人ばかりを責める譯にゆかぬ事が多くあります

(つづく)

安が堂札正は物紗羅と服洋

正札堂の既製洋服と羅紗物例に依つて既製洋服と羅紗物は正札堂へお越し下さい

既製洋服 オールコート マント 二重通い モント 外装 中装 外装 外装

鐵道省私服御用

常盤線平町四丁目停車場通

正札堂洋服店 須藤房教

あらゆる階級の需要者に絶人の信用を頂いてゐる……

親子井。五もく料理 まつや 平町長橋町

御定食

御一人前十五錢

吸し物 焼物 香の飯

うなぎ。そば うなぎ。天井

親子井。五もく料理 まつや 平町長橋町

今冬最新流行

子帽・物洋

タシマヒ揃山澤ガソイ安

大谷洋品部

大谷時計店

平町三丁目 電話九十九番

酒藥靈

特約店 福島縣平町五丁目 藥劑師 山野邊東次郎

養命酒

酒藥靈

親切第一

營業課

芝浦モートル特約店 日立トランス 電話機及各種乾電池 通信用器具 電機並諸機械修繕

裝飾器具 電球・電線

平町電業商會

福島縣平町 電話二一〇番

宴會

忘年新年

大、小、に不拘特に勉強致し、ますから相變らず御用命を御願申上ます

平 驛 前

電話二二二番

丸新館

短くなつた日を長くして……

「太陽は細工ぢやないから長く延すことは出来ません。唯オートバイ愛乗者は、それ天高く馬肥える候なれば、活動に油の乗る事も一入で短くなつた日も長々と使へるといふのです」

(御買入の御方には無料で教授いたします)

東北代理店 織田商店

自動自動車部

平町字南町 電話五三二

公債 債券 賣買

大正生命保險株式會社 平代理店

多田井質店

平町大工町

第二病室 増設

高久病院

院長 醫學士 高久忠

副院長 新潟醫學士 赤羽清

藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

平町田町 電話三一五番

牛なべ

上なべ…… 一人前 四十錢

本ロース…… 一人前 六十錢

鳥なべ

モツなべ…… 一人前 五十錢

上なべ…… 一人前 六十錢

右充分に勉強振りを發揮し候積りに付きは非一度御試食を賜り度候

尚ほ一般洋食は從前通りの値段に改正し

平町一丁目横町 (電話六二〇)

カフェー、タヒラ

吳服類は總べて

商標を御信用願ひます

安く良くは龜の標語です

必ず御満足して戴ける確信です

最近の當店へぜひお運びを願ひます

中野吳服店

平町三丁目 (電話六七番)

内科 小兒科 花柳病科 (需應院)

平町紺屋町

藤沼醫院

電話五〇七番

沈痛味を帯びた 平町の歳晚情景

然し何處かに力強
明日頃から本舞台

二十日を過ぎた今日この頃、
は所謂數日となつて來た
ので決濟氣分は濃厚になり
進んだ爲め各銀行とも一方
ならぬ緊張張り重役まで
馬を
陣頭に 進めるとい
つた形ちである然し一般
には至つて静穩なのである
から相當利益を計上し得る
と見れ配當率の如きも既に
前期通りは充分だとの確信
を得たやうだ、市況は

目下の

ところ如何
にも不振で折角大賣出しを
やつては見たがその結果如
何にと少からず憂慮してゐ
る有様だが然し歳末氣分を
高調して買物に出かけやう
とか歳暮品のやりとりをし
やうとか云ふのは先づ

廿五日

の聲をきい
てからなのが普通であつて
見ればさういふ悲觀の要も
なくやがておすなりの混
雜も演ぜられるに違ひない
であらう、何れにするも歳
末の市況は

一種の

沈痛味をお
びながらも何所かに力強い
空氣がたゞよつてゐるから
少くとも例年通り所までは
ぶつくとことと思はれる

夏井火防警戒

石城

平町の水道擴張工事 縣費補助二萬圓決す

延べ十六年度からといふこ
該制度の廢止期は一年繰り
平町水道擴張工事に對する
縣費補助二萬圓は昨日の最
終縣會に於て満協一致可決
確定した

平消防組で 夜警を開始

明廿五日から
平消防組にては明廿五日夜
から組織交互に出動して夜
警を開始すると

餅米代を惠む

極貧者に
昨年倍以上
平署の人事相談所から平署
管内人事相談所にては例年
の如く管内の極貧者に對し
モチ米代を配る爲めに調査
中の所約六十名に達する由
にて昨年の約倍以上に當る
が支給金額は二圓乃至三圓
である

害虫驅除講習

石城
郡夏井村農會にては本日午
ねてはらりと打鹽をこす
おきますと鹽水はすつかり
下の桶にたまつて白菜は水
氣がきれ風によかれてしほ
れてしまひます。それを別
の桶に底に一握りの鹽をま
いてその上に白菜の切り株
を上にして並べ、更に鹽を
ばらりとまいて白菜を前の
やうにしてならべ、順々に



家庭庭欄

白菜の漬方

白菜は水洗ひして株の所で
縦に及形を入れ二つに切り
開いた上もう一度水洗ひを
します。それを桶につみ重

常磐片々

伏見町長の戸數割が他の高
級官吏に比較して安いと
くつかの新聞に苦情記事現
る
○ 読んで見ると理由甚だ不徹
底
○ 甚だしいのになると高等官
の郡長や税務署長の等と比
較して安過ぎるとシクネて
居る
○ 寧ろ郡長や税務署長が苦笑
して居るであらう

來春の服飾の 飾服の春來

濃色配薄色地
ものが一般向きになつて

を決した町會議員様がよく
御存じの筈
○ 安い課税を論ずる前に安
俸給にあまんにて面倒な仕
事に身を細らして居る伏見
町長に同情して暮れモチ
代でも多く贈る苦面をして
はどうだ

不平受付

不徳義な料亭主人 數日
前の事新川町伊勢屋商店の
阿部敬治(尋常一年生)と云
ふ子供が自働車で撒布した
ピラを拾はんとした際藤田
藤田裁縫女學校向への壽々
喜亭主人が自轉車を飛ばし
來つて其子供を轢き足の骨
を折り治療四十日の傷を負
はせて一應の挨拶もせず
逃げ去つた、それでも良心
に恥じぬものでせうか
(憤慨生)

鬼の耳

亭主が、
んだのでオイ、
が妻君の名になる
土浦町後期徵稅キ
ツプの中に「土浦町大和町
宮田オイ」といふ名義のキ
ツプが發行されてゐたこれ
を配布された同所徵稅浦航
空隊兵曹宮田某妻トミエは
同姓の家を尋ねたけれども
オイといふ名の女が居住し
てゐないのでさがしあぐん
だ末役場に出頭聽きたし
たところトミエの夫が常に
トミエを呼ぶのに「オイオ
イ」と呼んでゐるため戸口
調査に來た吏員に近所の人
が宮田オイといふのでせう
と致へ間違つてしまつたこ
とが判明大笑ひに終つた
トミエは、
トミエは、
トミエは、

現代の

の香りの高
い、現代の趣味や氣分に當
てはまるものがそろそろ現
れて來たやうだ、そしてち
よつとスタれたと思はれた
色彩本位の模様ものが今度
は軽い氣分で模様よりも色
彩本位に
面白く 現したも
が出て來たそれも直線の角
張つたものでなく、やはら
か味のある線の色彩で面白
く圓柄の調子をとつていつ
たものである、數年前には
模様の洋風化が未來派を表
現派まで
現れた が當然これ

結果で

あると思は
れるこの新しい傾向が帯
側等にも應用される様子で
これ等の色彩は地色と配合
とを反対色で現すか同色系
を用ゐるかの二つで配色に
中間色を用ゐることは春の
ものにはまづ失敗であらう
そして日本趣味のものでも
色彩
本位で も秋冬もの
と變つてゐる

現代の

の香りの高
い、現代の趣味や氣分に當
てはまるものがそろそろ現
れて來たやうだ、そしてち
よつとスタれたと思はれた
色彩本位の模様ものが今度
は軽い氣分で模様よりも色
彩本位に
面白く 現したも
が出て來たそれも直線の角
張つたものでなく、やはら
か味のある線の色彩で面白
く圓柄の調子をとつていつ
たものである、數年前には
模様の洋風化が未來派を表
現派まで
現れた が當然これ

面白く

現したも
が出て來たそれも直線の角
張つたものでなく、やはら
か味のある線の色彩で面白
く圓柄の調子をとつていつ
たものである、數年前には
模様の洋風化が未來派を表
現派まで
現れた が當然これ

現れた

が當然これ
が出て來たそれも直線の角
張つたものでなく、やはら
か味のある線の色彩で面白
く圓柄の調子をとつていつ
たものである、數年前には
模様の洋風化が未來派を表
現派まで
現れた が當然これ

本位で

も秋冬もの
と變つてゐる
が出て來たそれも直線の角
張つたものでなく、やはら
か味のある線の色彩で面白
く圓柄の調子をとつていつ
たものである、數年前には
模様の洋風化が未來派を表
現派まで
現れた が當然これ

本位で

も秋冬もの
と變つてゐる
が出て來たそれも直線の角
張つたものでなく、やはら
か味のある線の色彩で面白
く圓柄の調子をとつていつ
たものである、數年前には
模様の洋風化が未來派を表
現派まで
現れた が當然これ